



最新マンスリーecoニュース&トピックス

・最近のニュース

平成23年度の産廃処理施設設置状況、産廃処理業許可状況を公表2014.02.13/環境省

環境法改正情報

■エネルギーの使用の合理化に関する法律の改正2013.12.27

環境省は、平成26年2月13日、平成23年度の全国産業廃棄物処理施設の設置状況、産業廃棄物処理業の許可状況についての調査結果を公表した。平成24年4月1日現在で調査対象になった47都道府県、64保健所設置市の産業廃棄物中間処理施設数は、平成22年度より267減った1万8,880施設。また、最終処分場数は平成22年度より57減った1,990施設となっていた。

「荷主における電気の需要の平準化に資する措置に関する事業者の指針」が制定された。電気需要平準化時間帯は、7月1日～9月30日の8時～22時、及び12月1日～3月31日の8時～22時とすることとした。なお、荷主が電気需要平準化に資する措置を実施するに当たっては、労働環境の悪化や従業員への負担の増加につながらないよう、十分留意することとした。

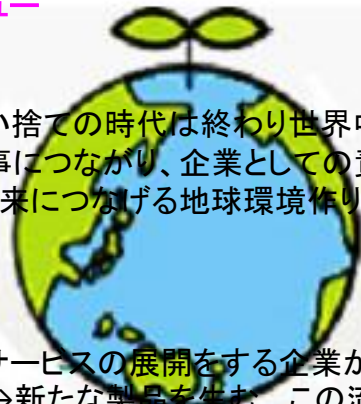
Ecobiz/ecolife エコBiz/エコライフ

エコエイトのサービスメニュー

産業廃棄物のリサイクルについて (1)

ゴミのリサイクルとは? どうしてリサイクルなの?

今世の中ではリサイクルに取り組むことが当然のモラルとなっています。使い捨ての時代は終わり世界中で資源の有効循環に取り組む時代となっています。それが次の未来を作る事につながり、企業としての責任でもあるのです。エコ・エイトでは社会的立場から限りある資源の保全と未来につなげる地球環境作りを掲げ、社内一丸となってリサイクルに取り組んでいます。



リサイクルでイメージアップ!!

各企業ではリサイクルへの取り組み自体が売り上げに直結する主力としてサービスの展開をする企業が増えています。資源を使い製品を作る→使い終わった製品を資源に変える→新たな製品を生む。この流れの中でいかに企業としてリサイクルしやすい製品を選ぶかが企業イメージにつながっていくのでしょうか。しかし、すべての企業がサービスにリサイクルやエコなどを盛り込めるわけではありません。企業によってはエコロジーとはつながりにくいものも多いはず。そんな中でもリサイクルをすることにより、地球環境を意識した姿勢をアピールすることができ、企業の見られ方も変わってきます。



Try for tomorrow
「明日の地球の為に、
今できること」

当社の営業のエリア

当社の営業エリアです。



足立区/荒川区/板橋区/
江戸川区/大田区/葛飾区/
江東区/北区/品川区/渋谷区/新宿区/
杉並区/墨田区/世田谷区/台東区/
中央区/千代田区/豊島区/中野区/
練馬区/文京区/港区/目黒区/ 調布市/
三鷹市/府中市/
埼玉県/千葉県/茨城県/神奈川県/
栃木県/群馬県/山梨県/長野県/静岡県

罰則と判例

愛知県に約12億円賠償命令 産廃許可取り消し2014.03.13/読売新聞
愛知県春日井市内の産業廃棄物処理施設について同県が設置許可を取り消したことについて、施設を建設した遊技場経営会社が違法だとして同県を相手取り、約16億7000万円の損害賠償を求めた訴訟で、名古屋地裁は13日、同県に約12億3000万円の支払いを求める判決を言い渡した。

営業に役立つ
環境用語と豆知識

【水平リサイクル】

品質の劣化を伴わず、同じものに再生できるリサイクルのこと。クローズド・ループリサイクルともいう。

例: アルミ缶⇒アルミ缶、ペットボトル⇒ペットボトル、トナー⇒トナー等